

事例

- 米国内・最大のピーナッツ加工会社では、
殻無しピーナッツ……8,000トン 殻付きピーナッツ……16,000トン
もの量の選定や加工、貯蔵可能な設備を有しています。
 - ・ピーナッツは当工場へ搬送される前に強制温風乾燥機により、約10%の含水率に乾燥
 - ・貯蔵庫で商品等級を最高にするため、更に約7%の含水率まで低減
 - ・乾燥工程後、出荷までの間は5°CDB以下の低温倉庫にて保管
- ピーナッツ加工会社で出荷まで、最も懸念する事項は以下の点です。
 - ・乾燥しすぎ…重量減少による販売額の低減に繋がる
 - ・含水率… 含水率が9%を超えた場合、標準等級以下と見なされる
含水率が12%を超えた場合、カビの発生が危惧されます

問題点

- ・夏場の高温多湿時が、最も注引量が多い時期であり、頻繁に倉庫からピーナッツが出荷される
→高温多湿の外気が工場内に常に侵入
→低温倉庫内の相対湿度が80~90%まで達してしまい、ピーナッツの含水率が9%を超えようとしていた
更に含水率が上昇すれば、カビの発生も懸念される
しかも、含水率が上昇した場合には、追加で以下の作業を行わなければならない
 - ▼在庫商品の再加工の必要(ヒーターによる強制乾燥)
 - ▼再加工量は3ヶ月分の出荷量となる
 - ▼再加工の費用は1~1.2億円になる試算

解決方法

- 必要な時にスピーディーに設置できる「ドライ・レンタルサービス」を採用する。
サービスの流れ
 - ・現場調査
工場の容積・要望条件・被乾燥物の状況を調査し、Q=7,000m³/hのデシカント除湿機を8台投入
 - ・稼動まで
機器の搬入から調湿除湿乾燥システムの稼動まで2~3日間で対応
 - ・運転開始直後の状況
デシカント除湿機から調湿除湿乾燥空気が低温貯蔵庫に供給され、貯蔵庫内の湿度は僅か数時間で下がり始めた。同時に、湿度も徐々に下がり安定してきた
 - ・運転開始から4日後
貯蔵庫内の湿度は安定。ピーナッツの含水率も減少し、調湿除湿乾燥の効果が実証された。
(顧客は、目標含水率に達するために3~4週間ほど要すると予想されていた)
 - ・結果
ピーナッツの含水率は要望条件に戻り、最終的にレンタル機は8台→2台に削減され、再発防止用として貯蔵庫内の適切な湿度コントロールに使用されています。

●費用対効果

予想された復帰費用・逸失事項	ドライ・レンタルサービスにかかったコスト
約6,000トンにも及ぶピーナッツの再加工費、 納期遅れ、商機の逸失 予想されたコスト: 1.2億	約4ヶ月間のレンタル料金: 1千万円 納期遅延なく出荷できた ユーザへの信用喪失を回避

お客様にとってのメリット

1. 商売の商機逸失防止

湿度問題発生後、ドライ・レンタルサービスにて問題を解決。顧客への信用喪失を回避します。

2. 商品品質の保持

調湿除湿乾燥システムは、湿度問題解決と同時に商品の品質向上に効果を発揮しています。

湿度問題の予防策として、常時デシカント除湿機を稼働させているお客様もいらっしゃいます。

緊急で調湿乾燥空気が必要な場合に、ドライ・レンタルサービスは有効な手段です。

3. 機器購入前の現地実証テストに対応

機器を購入する前に、レンタル機による効果確認実証テストを行い、効果を確認することができます。

4. 柔軟なシステム変更

ドライ・レンタルサービスでは、予定期間より早く問題解決ができた場合はレンタル機の台数を適宜減数することができます。また、能力が不足した場合には、レンタル機の台数を増数することもでき、お客様の状況に合わせてフレキシブルに対応いたします。

5. 高コストパフォーマンス、安心の技術、サービスサポートの提供

産業界向けに長年デシカント除湿機を販売してきた豊富な経験により、最適且つ経済的なシステムをご提案します。メンテナンスサービスにも対応いたします。